

学校保健研究部 活動報告

部長 帆苅 円 (津川小学校)

副部長 齋藤 映子 (上条小学校)

1 研究主題

児童生徒の健康管理能力を育成するための養護教諭の支援

～保健室来室者への養護教諭の対応とその視点～

2 研究内容・方法

- 保健室来室者への対応について、その視点を振り返り、調査研究へいかす。
- 重点活動表を含めた保健室経営計画を作成し、それに基づいて児童生徒の健康管理能力の育成をはかる。
- 一人一実践を冊子にまとめ、各自の実践に活用する。

3 活動の概要

期日	主な活動概要	会場
第1回部会 6月15日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度 事業報告・決算報告 ・平成23年度 事業計画・予算審議 ・平成23年度 研究計画 ・県養研 研究推進委員会・代議員会報告 	ふるさと 交流川屋敷
第2回部会 8月22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・教材作り(歯科指導用模型) ・日常執務の情報交換 ・支部研修「保健室経営計画の作成について」 担当：研究推進委員 西川小学校 佐久間 睦 三川中学校 長谷川 由紀 	ふるさと 交流川屋敷
第3回部会 9月14日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断・文書統一に関する反省点・改善点について ・阿賀町学校保健委員会 打合せ ・情報交換 	ふるさと 交流川屋敷
第4回部会 2月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度 事業・研究の反省 ・県養研 研究推進委員会・代議員会報告 ・実践発表会 (指導者：下越教育事務所指導主事 栗林 祐子様) 	ふるさと 交流川屋敷

【備考】

- 町内の中・高等学校養護教諭も参加し、東蒲原郡養護教員研究協議会として実践をおこなっていく。
- 8月：東蒲原郡小・中学校で、同一の保健指導資料を作成(小学校用・中学校用)
- 2月：実践集録(第30集)の発行
- 3月：役員会 平成24年度の計画打ち合わせ・引き継ぎ等

〈教材作りについて〉

今年度も昨年度に引き続き、歯科教材（H23年度は、「健康な歯肉と歯肉炎の比較ができる歯顎模型」）を作成した。身近な材料で子どもたちの視覚に訴えることのできる教材が完成した。

「阿賀町学校保健委員会」の取り組みとして、小・中学校が連携した歯科保健指導9カ年計画を作成することとしている。小・中・高等学校で同じ教材を共有することで、町全体で計画に沿った統一した指導を実施することができる。今後は、9カ年計画の指導案と関連させながら、教材内容を決定していくようにする。

さらに充実した歯科指導が実施できるよう、アイデアを共有しながら、今後も継続して「同一教材作り」を実施していく。



〈情報交換について〉

各校の日常執務の状況や感染症の発生動向等、阿賀町内の情報を共有することができる貴重な場となった。また、感染症発生時の対応については、実際に感染症が拡大し、保健所から指導を受けた学校の対応について、情報を共有し合い、今後の各校の対応について改めて考える場も設けることができた。



養護教諭は一人職種であるため、日々の執務内容に不安を感じたり、困り事や疑問を抱え、悩んでしまったりすることも多い。情報交換の場を設けることで、複数の養護教諭の意見を聞くことができ、一つ一つ解決することができた。

〈支部研修について〉



今年度から新しい形式で作成することになった「保健室経営計画」について、研究推進委員による伝達講習を実施した。各校で作成した計画を持ち寄り、お互いに評価し合い、再度自校の保健室経営計画を見直すことができた。研究推進委員が事前に、県立教育センターで事前指導を受けていたため、自分たちの評価だけでなく、専門的な視点から、研究の進め方も学ぶことができた。

来年度以降は、指導主事の先生方を外部講師として招き、一人一人の保健室経営計画を見ていただくという場も設けたい。「研究」として保健活動を行っていくのにふさわしい計画が作成できるよう研修を積んでいく。

〈健康診断・文書統一に関する反省・改善について〉

健康診断・文書統一に関する反省点・改善点について話し合いを行った。

今年度は、これまで町で行ってきた「生活習慣病健診」について、改めて検討した。子どもたちの実態に合う検査内容にしていくため、他地区の状況や校医の先生の指導を受けた上で、検査項目・対象児童に関する改善策を要望することができた。



子どもたちにとって意義のある保健行事にしていくためにも、実施後に感じた反省点をまとめ、必要な要望について繰り返し訴えていくという取り組みは継続していく。